富山大学理学部規則

平成17年10月20日制定	平成20年2月27日改正
平成20年6月18日改正	平成21年2月18日改正
平成22年2月5日改正	平成22年3月7日改正
平成22年6月16日改正	平成23年3月4日改正
平成24年3月5日改正	平成25年3月5日改正
平成26年2月12日改正	平成27年3月20日改正
平成27年10月14日改正	平成28年3月20日改正
平成29年3月6日改正	平成30年3月27日改正
平成31年3月20日改正	令和元年9月24日改正
	令和2年3月5日改正

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学学則（以下「学則」という。）第5条第2項の規定に基づき、富山大学理学部（以下「本学部」という。）の教育研究上の目的、授業科目、履修、試験、卒業、研究生及び科目等履修生等に関する事項を定める。

(教育研究上の目的)

第1条の2 本学部における教育研究上の目的は、次のとおりとする。

教育目的

自然を律している基本的な原理や法則を究め、その成果に基づいた教育を行うことを使命とし、この使命のもと、豊かな人間性と国際的視野及び高い研究能力を有し、リーダーシップをもって社会で活躍できる人材を育成するため、教養教育を重視するとともに、理学全般の基礎学力、幅広い視野から課題解決ができる応用力を培う教育を推進する。

研究目的

自然科学における真理の探究を通じ、人類の持続的発展と文化の創造に寄与するため、次の各号に掲げる目的をもって研究を推進する。

- (1) 基礎研究を通して、自然を律している普遍的な原理や法則を究める。
- (2) 自然環境との調和のとれた科学・技術の発展に寄与する。
- (3) 地域の特徴を活かした総合的な研究を推進し、その成果を地域社会や世界に向けて発信する。
- (4) 諸外国の研究機関との交流・協力を進め、国際社会への貢献を図る。

(学科)

第2条 本学部には次の学科を置く。

数学科
物理学科
化学科
生物学科
生物圏環境科学科

(学科の教育目的)

第2条の2 学科における教育目的は、次のとおりとする。

- (1) 数学科においては、基礎的な数学の理解を徹底させ、数学的な思考能力の涵養を図り、社会の様々な要求に柔軟に対応し得る思考力を養うことにより、数学が必要とされる多様な分野において活躍できる人材の育成を目的とする。
- (2) 物理学科においては、自然の仕組みを理解するために不可欠である物理学を基礎から着実に習得し、最終学年に行う卒業研究を通して、これからの技術社会をリードするための豊かな素養と物理学的な広い視野に基づいた問題解決能力及び応用力を培い、社会に貢献できる人材の育成を目的とする。
- (3) 化学科においては、自然界の多様な物質の構造、物性、反応を原子分子レベルの観点から理解するための幅広い専門的知識と化学的方法論を習得させるとともに、広い視野と深い考察力を養うことで、最先端化学の課題を解決する能力を身につけ、高度産業社会に対応できる人材の育成を目的とする。

(4) 生物学科においては、生物学の専門知識と技術を習得することにより、生命現象の普遍性と多様性やそれらの進化的意義及び生命の尊厳を認識し、これらの知識と技術を活用して社会に貢献できる人材の育成を目的とする。

(5) 生物圏環境科学科においては、化学、生物学、地球科学を基礎とした環境科学について学び、地球環境の大切さを科学の目を通して理解し、それらを活かして社会に貢献できる人材の育成を目的とする。

(教員組織)

第2条の3 学科に配置される教員の組織として教員部を置く。

(授業科目及び単位数、履修方法)

第3条 本学部の教育課程は、専門科目(本学部が開設する授業科目をいう。以下同じ。)及び教養教育科目(富山大学教養教育履修規則第5条第2項に規定する教養教育の授業科目をいう。以下同じ。)により編成する。

2 専門科目は、専門基礎科目及び専攻科目により構成し、開設するそれぞれの科目及びその単位数は、別表Iのとおりとする。

3 教養教育科目及びその単位数に関することは、富山大学教養教育履修規則の定めるところによる。

第4条 卒業に必要な修得単位数は、別表IIのとおりとする。

第5条 履修期間は4年とし、これを8学期に分ける。

(単位の計算方法)

第6条 専門科目の単位数は、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習及び講読については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、科目によっては30時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、科目によっては45時間の授業をもって1単位とする。

2 一の専門科目について、講義、演習、講読、実験又は実習のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、前項に規定する基準を考慮し、その組み合わせに応じて定めることができる。

(授業科目の履修等)

第7条 学生は、履修しようとする専門科目について、所定の期間内に履修申告をしなければならない。

第8条 本学部学生が他学部の授業科目を履修しようとするときは、あらかじめ所定の手続きにより学部長を経て当該他学部長の許可を得なければならない。

第9条 他学部の学生が所属学部長を経て専門科目の履修を願い出たときは、学部長はこれを許可することができる。

(他の大学等における授業科目の履修等)

第10条 本学部学生が学則第59条及び第60条の規定により、他の大学等又は大学以外の教育施設等において、当該大学等の授業科目を履修しようとするときは、学部長の許可を受けなければならない。

2 前項の規定により、履修できる期間は、原則として1年以内とし、この期間を卒業に要する在学年数に算入するものとする。

3 第1項の規定により、履修した授業科目について修得した単位は、教授会の意見を聴いて、60単位を限度として、本学部の単位として認定することができる。

(試験、教育課程の修了認定)

第11条 所定の専門科目を履修し、試験に合格した者には、単位を認定する。

2 試験は、原則として学期末に行う。

3 病気、忌引その他やむを得ない事由により正規の試験を受験できなかった者は、試験終了後7日以内に所定の願書にその事由を詳細に記入し、証明書類を添えて追試験の許可を願い出ることができる。

4 専門科目を担当する教員は、当該科目の試験の結果が不合格となった者に対し、必要があると認めた場合には再試験を行うことができる。

第12条 専門科目の成績は、秀、優、良、可、及び不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可

を合格とする。

2 成績の評語は、100点を満点として、次のとおりとする。

- 秀 90点以上
- 優 80点以上90点未満
- 良 70点以上80点未満
- 可 60点以上70点未満
- 不可 60点未満

3 第1項の規定にかかわらず、専門科目によっては、秀、優、良、可、及び不可の評語によらずに、認、合格及び不合格の評語を用いることがある。

第13条 教育課程の修了は、教授会の意見を聴いて学部長が認定する。

(転学部及び転学科)

第14条 転学部及び転学科(以下「転学部等」という。)を願い出た者があるときは、教授会の意見を付して、学長に転学部等の願出書を提出する。

2 転学部等を許可する時期は、原則として2学年の始めとする。

3 転学部等を許可された者の在学年数は、学部の定めるところによる。

(編入学及び転入学)

第15条 編入学及び転入学(以下「編入学等」という。)を願い出た者があるときは、教授会の意見を付して、学長に編入学等の願出書を提出する。

2 編入学を許可する時期は、原則として3学年の始めとする。

3 転入学を許可する時期は、相当年次の始めとする。

4 編入学等を許可された者の在学年数は、学部の定めるところによる。

第16条 転学部等及び編入学等を希望する者は、出願に際し次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 願書

(2) 所属学部長の受験承認書又は在籍する大学の受験許可書

(3) 所属学部、在籍する大学又は卒業した大学における成績調書
(教員免許状)

第17条 教員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、その授与を受けようとする免許状の種類に従い、別に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

(研究生)

第18条 研究生として入学を志願する者は、出願に際し次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 入学願書

(2) 履歴書

(3) 最終出身学校の卒業又は修了証明書

(4) 職業を有する者は、所属長の承認書

(科目等履修生)

第19条 科目等履修生として入学を志願する者の提出書類については、前条の規定を準用する。

(雑則)

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教授会の意見を聴いて、学部長が定める。

附 則

1 この規則は、平成17年10月1日から施行する。

2 学則附則第5項の規定により、国立大学法人富山大学成立の際現に旧富山大学理学部に在学する者は、本学部を卒業するため必要であった教育課程の履修を本学部において行うものとし、旧富山大学理学部規則等を適用する。

附 則

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。

2 平成19年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成20年6月18日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成22年6月16日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成24年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成25年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成26年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 前項にかかわらず、別表 I 中、教養科目及び共通基礎科目の規定は、平成26年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成27年10月14日から施行し、平成27年4月1日から適用する。
- 2 平成26年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成30年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和元年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表 I (第3条第2項関係)

専 門 基 礎 科 目	単位数		専 攻 科 目	単位数	
	必修	選 択		必修	選 択
解析学A	2		解析学 I	2	
解析学B	2		解析学 II	2	
線形代数学 A	2		解析学 III	2	
線形代数学 B	2		解析学 IV	2	
数学序論	2		線形代数学 I	2	
物理学序説 I		2	線形代数学 II	2	
物理学序説 II		2	線形代数学 III	2	
物理学概論 I		2	代数学 I	2	
物理学概論 II		2	代数学 II		2
化学概論 I		2	代数学 III		2
化学概論 II		2	幾何学 I		2
生物学概論 I		2	幾何学 II		2
生物学概論 II		2	集合論	2	
地球科学概論 I		2	位相空間論 I	2	
地球科学概論 II		2	位相空間論 II		2
生物圏環境科学概論		2	複素解析学 I	2	
地球生命環境理学		2	複素解析学 II		2
放射線基礎学		2	実解析学 I	2	
学外体験実習		1又は2※1	実解析学 II		2
理系キャリアデザイン		1	プログラミング I		2
科学英語海外研修		3	プログラミング II		2
海外語学研修		4※2	微分方程式論 I	2	
TOEIC英語e-ラーニング		4※2	微分方程式論 II		2
			数値解析学		2
			関数解析学		2
			確率論		2
			代数学特論 A		2
			代数学特論 B		2
			幾何学特論 A		2
			幾何学特論 B		2
			解析学特論 A		2
			解析学特論 B		2
			情報数理特論 A		2
			情報数理特論 B		2
			応用数理特論 A		2
			応用数理特論 B		2
			科学英語		2
			科学コミュニケーション I		1
			科学コミュニケーション II		1
			科学ボランティア活動		1
			数学特別講義		*
			卒業研究	12	

*印を付した数学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

※1 自由選択科目として認定する。

※2 2単位を超える単位数は、自由選択科目として認定する。

物理学科

専 門 基 礎 科 目	単位数		専 攻 科 目	単位数	
	必修	選 択		必修	選 択
微分積分学Ⅰ		2	物理学入門	2	
微分積分学Ⅱ		2	物理数学A	2	
線形代数学		2	物理数学B	2	
応用数学基礎		2	力学A	2	
物理数学序論	2		力学B	2	
力学序論	2		力学C		2
電磁気学序論	2		電磁気学A	2	
物理学概論Ⅰ		2※1	電磁気学B	2	
物理学概論Ⅱ		2※1	電磁気学C		2
化学概論Ⅰ		2	熱力学	2	
化学概論Ⅱ		2	統計力学A	2	
生物学概論Ⅰ		2	統計力学B	2	
生物学概論Ⅱ		2	量子力学A	2	
地球科学概論Ⅰ		2	量子力学B	2	
地球科学概論Ⅱ		2	量子力学C		2
生物圏環境科学概論		2	物理学演習A		2
地球生命環境理学		2	物理学演習B		2
放射線基礎学		2	物理実験学		2
基礎化学実験		1	物理学実験A	2	
基礎生物学実験		1	物理学実験B	2	
基礎地球科学実験		1	物理学実験C	2	
基礎生物圏環境科学実験		1	物性物理学A		2
学外体験実習		1又は2※1	物性物理学B		2
理系キャリアデザイン		1	相対性理論		2
科学英語海外研修		3	核・素粒子物理学		2
海外語学研修		4※2	光学		2
TOEIC英語e-ラーニング		4※2	原子分子分光学		2
			宇宙物理学概論		2
			プログラミング実習		1
			科学英語		2
			洋書講読	2	
			科学コミュニケーションⅠ		1
			科学コミュニケーションⅡ		1
			科学ボランティア活動		1
			物理学特別講義		*
			卒業論文	12	

*印を付した物理学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

※1 自由選択科目として認定する。

※2 2単位を超える単位数は、自由選択科目として認定する。

化学科

専 門 基 礎 科 目	単位数		専 攻 科 目	単位数	
	必修	選 択		必修	選 択
微分積分学Ⅰ		2	基礎物理化学	2	
微分積分学Ⅱ		2	化学熱力学Ⅰ	2	
線形代数学		2	化学熱力学Ⅱ	2	
応用数学基礎		2	量子化学Ⅰ	2	
物理学序説Ⅰ		2	量子化学Ⅱ	2	
物理学序説Ⅱ		2	化学反応学	2	
物理学概論Ⅰ		2	無機化学Ⅰ	2	
物理学概論Ⅱ		2	無機化学Ⅱ		2
生物学概論Ⅰ		2	化学平衡学		2
生物学概論Ⅱ		2	触媒化学		2
地球科学概論Ⅰ		2	原子分子分光学		2
地球科学概論Ⅱ		2	分子物性学		2
生物圏環境科学概論		2	溶液化学		2
地球生命環境理学		2	材料科学		2
放射線基礎学		2	電気化学		2
基礎物理学実験		1	プログラミング実習	1	
基礎生物学実験		1	物理化学実験	3	
基礎地球科学実験		1	無機分析化学実験	3	
基礎生物圏環境科学実験		1	有機化学Ⅰ	2	
基礎化学セミナー	2		有機化学Ⅱ	2	
化学実験	1		有機化学Ⅲ	2	
学外体験実習		1又は2※1	有機化学Ⅳ	2	
理系キャリアデザイン		1	有機化学Ⅴ	2	
科学英語海外研修		3	有機化学Ⅵ	2	
海外語学研修		4※2	生物化学Ⅰ	2	
TOEIC英語e-ラーニング		4※2	生物化学Ⅱ		2
			機器分析化学		2
			合成有機化学		2
			高分子化学		1
			有機化学実験	6	
			水環境化学	2	
			環境化学計測		2
			科学英語Ⅰ		1
			科学英語Ⅱ		1
			科学コミュニケーションⅠ		1
			科学コミュニケーションⅡ		1
			科学ボランティア活動		1
			化学特別講義		*
			卒業論文	12	

*印を付した科目の単位数は、必要に応じて定める。

※1 自由選択科目として認定する。

※2 2単位を超える単位数は、自由選択科目として認定する。

生物学科

専 門 基 礎 科 目	単位数		専 攻 科 目	単位数	
	必修	選 択		必修	選 択
微分積分学Ⅰ		2	基礎生化学	2	
微分積分学Ⅱ		2	基礎細胞生物学	2	
線形代数学		2	基礎動物形態学	2	
応用数学基礎		2	基礎植物形態学	2	
物理学序説Ⅰ		2	基礎系統学	2	
物理学序説Ⅱ		2	基礎生理学	2	
物理学概論Ⅰ		2	基礎発生学	2	
物理学概論Ⅱ		2	基礎遺伝学	2	
化学概論Ⅰ		2	基礎生態学	2	
化学概論Ⅱ		2	植物生理学		2
生物学概論Ⅰ	2	※1	生命情報科学		2
生物学概論Ⅱ	2	※1	分子生物学		2
地球科学概論Ⅰ		2	進化生態学		2
地球科学概論Ⅱ		2	進化発生学		2
生物圏環境科学概論		2	発生制御学		2
地球生命環境理学		2	内分泌学		2
放射線基礎学		2	共生機能科学		2
基礎物理学実験		1	時間生物学		2
基礎化学実験		1	応用植物学		2
基礎地球科学実験		1	行動生理学		2
基礎生物圏環境科学実験		1	動物生理学		2
学外体験実習		1又は2※1	生体構造学実験Ⅰ	2	
基礎生物学セミナー	2		生体構造学実験Ⅱ	4	
理系キャリアデザイン		1	生体制御学実験Ⅰ	2	
科学英語海外研修		3	生体制御学実験Ⅱ	4	
海外語学研修		4※2	臨海実験Ⅰ		1
TOEIC英語e-ラーニング		4※2	臨海実験Ⅱ		1
			野外実習Ⅰ		1
			野外実習Ⅱ		1
			科学英語	2	
			科学コミュニケーションⅠ		1
			科学コミュニケーションⅡ		1
			科学ボランティア活動		1
			生物学特別講義		*
			卒業論文	12	

*印を付した生物学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

※1 自由選択科目として認定する。

※2 2単位を超える単位数は、自由選択科目として認定する。

生物圏環境科学科

専 門 基 礎 科 目	単位数		専 攻 科 目	単位数	
	必修	選 択		必修	選 択
微分積分学Ⅰ		2	環境科学入門	2	
微分積分学Ⅱ		2	環境基礎生物学A	2	
線形代数学		2	環境基礎生物学B	2	
応用数学基礎		2	生態学	2	
物理学序説Ⅰ		2	保全生物学	2	
物理学序説Ⅱ		2	環境微生物学		2
物理学概論Ⅰ		2	環境植物生理学		2
物理学概論Ⅱ		2	植物生態学		2
化学概論Ⅰ	2		環境生物学		2
化学概論Ⅱ		2	環境化学	2	
生物学概論Ⅰ		2	水環境化学	2	
生物学概論Ⅱ		2	基礎有機化学		2
地球科学概論Ⅰ		2	環境化学計測	2	
地球科学概論Ⅱ		2	海洋科学	2	
生物圏環境科学概論		2	地球化学	2	
地球生命環境理学		2	一般地質学		2
放射線基礎学		2	環境保全化学		2
基礎物理学実験		1	環境物理学	2	
基礎化学実験		1	古生物学	2	
基礎生物学実験		1	大気物理学		2
基礎地球科学実験		1	雪氷物理学		2
学外体験実習		1又は2※1	生物圏環境科学実験Ⅰ	3	
理系キャリアデザイン		1	生物圏環境科学実験Ⅱ	3	
科学英語海外研修		3	生物圏環境科学実験Ⅲ	3	
海外語学研修		4※2	生物圏環境科学セミナー	2	
TOEIC英語e-ラーニング		4※2	科学英語		4
			野外実習Ⅰ		1
			野外実習Ⅱ		2
			野外実習Ⅲ		2
			科学コミュニケーションⅠ		1
			科学コミュニケーションⅡ		1
			科学ボランティア活動		1
			生物圏環境科学特別講義		*
			卒業論文	12	

*印を付した生物圏環境科学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

※1 自由選択科目として認定する。

※2 2単位を超える単位数は、自由選択科目として認定する。

別表Ⅱ（第4条関係）

卒業に必要な修得単位数

区 分		数 学 科		物 理 学 科		化 学 科		生 物 学 科		生 物 圏 環 境 科 学 科	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
教養教育科目		28		28		28		28		28	
専 門 科 目	専門基礎科目	10	10	6	14	3	17	2	18	2	18
	専 攻 科 目	38	26	44	20	55	9	44	20	49	15
	小 計	48	36	50	34	58	26	46	38	51	33
自由選択科目			12		12		12		12		12
合 計		124		124		124		124		124	
<p>1 専攻科目の選択は、他学科の専攻科目（一部の科目を除く。）のうちからも選択することができる。</p> <p>2 自由選択科目には、次の単位を含めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養教育科目のうち、選択科目として必要と定められた単位数を超えて修得した科目（12単位まで） ・専門科目の選択のうち、必要と定められた単位数を超えて修得した科目 ・他学部の授業科目（別に定める、教員免許状取得に関する一部科目を除く。） 											